

活動目的

環境デザイン学科では、有志学生が中心となって毎年冬至の時期に合わせて「キャンドルナイト」というイベントを行っています。これは、環境省や大地を守る会など多くのNPO法人による「でんきを消してスローな夜を。100万人のキャンドルナイト」という呼びかけに賛同し行っているもので、本学の学生はもちろん、活動メンバーの知人がイベントに訪れたり、地域の方に足を運んで頂いたり、毎年ちよとずつではありますが、人と人との輪が繋がっています。

「でんきを消してスローな夜を。100万人のキャンドルナイト」の呼びかけはイベントを毎年行うようになったおかげで学科内での認知度は高くなり、学科教員からのご指導も頂けるようになりました。しかし、他学科の学生・教員、そして地域の方々への認知度は低く、これからの広報活動が大切になってくると活動構成員一同が感じています。

そこで今年のイベントでは大学全体への情報発信、地域への情報発信を中心として、「でんきを消してスローな夜を。100万人のキャンドルナイト」という言葉を知ってもらうことを目的として行いました。

お詫び

まず、実施日程が予定よりも1ヶ月遅れてしまったこととお詫び致します。例年、答辞(12月中旬～下旬)に合わせて開催してきましたが、「アイスクャンドル作りは多大なエネルギーを使用する！省エネを呼び掛けているのに、イベントの準備にエネルギーを消費しては趣旨に反する！」という話から、例年行っていたアイスクャンドル作りからスノーキャンドルへ移行することとなりました。その結果、積雪時期、積雪量を考慮し、1月下旬の開催となりました。

また、申請書に記載した活用予定概要等でも大きく変更がありました。活動メンバーを手広く募集する予定ではありましたが、学科内で募集を掛けたことと、1月21日、22日、23日に一般配布したお持ち帰り用キャンドルに活動メンバー募集告知チラシを同封したことのみとなってしまいました。結果、新規でイベントに参加してくれたスタッフは、構成員の知人(夢プロの雪かき隊の皆さま、夢プロの廃油キャンドルの皆さま)のみとなってしまいました。活動メンバー募集にもっと力を入れるべきであった、卒業論文との兼ね合いもしっかりと考えて作業スケジュールを立てるべきだったと反省しております。

それでは、活動報告をさせていただきます。

実施日

2008年1月21日(月)～23日(水)

お持ち帰り用キャンドルの配布は11時頃から、23日の本イベントは16:45から行いました。

活動スタッフ

発 起 人 加藤麻衣子、工藤ゆり子、山崎未樹、阿部侑之甫

当日スタッフ 夢プロ雪かき隊の皆さま、夢プロ廃油キャンドルの皆さま

イベント内容

		写真等	説明
1	ポスターの掲示		学内掲示板でイベント告知を行いました。

			
2	お持ち帰り用キャンドルの配布		<p>21日～23日の3日間、G棟1階、HITプラザ、5号館食券売り場前で1日60個ほどを設置。自由に持ち帰って頂きました。</p>
3	スノーキャンドル点灯		<p>23日、400個ほどのスノーキャンドルを学内で展示、点灯しました。</p>
4	温かい飲み物の提供		<p>コーンポタージュを作って、会場に来てくださった方、会場を横切った方などに飲んで頂きました。</p>
5	廃油キャンドル作り		<p>夢プロの廃油キャンドルの皆さまにお願いしてブースを設置。廃油キャンドル作りをして頂きました。</p>
6	パンフレットの配布		<p>当初、100部ほど当日の会場用に印刷をしておく予定でしたが、手違いがあり13部しか印刷が仕上がっておらず、会場閲覧用ということで設置しました。</p>